

第2回 新型インフルエンザ警戒体制会議結果概要

1. 開催日時

平成21年8月21日(金) 14時~15時

場所：生涯学習センター4階第1講義室

出席者 副市長、本部員等 計23名出席

2. 状況報告について

新型インフルエンザでの死亡者 3名 沖縄県57歳 神戸市77歳 名古屋市81歳
インフルエンザの発生状況

全国	8月3日~8月9日	1定点あたりの患者数	0.99人
	8月19日	舩添厚労大臣	流行宣言
福井県	8月10日~8月16日	1定点あたりの患者数	1.03人
		流行開始の指標	1定点あたり 1.0人
丹南	8月10日~8月16日	1定点あたりの患者数	0.38人

・県の対応

8月19日 インフルエンザ予防対策等の徹底について

8月20日 新型インフルエンザ対策本部 幹事会
発生状況 感染拡大防止の徹底

8月20日 市町教育長会議

・各部局からの報告

教育委員会・・・市町教育長会議の結果報告。(学級単位で2名以上の感染者が出たら、県健康福祉センターに報告し対応を協議。)

福祉保健部・・・夏風(ヘルパンギーナ)の症状の園児が数人いる。

企画部・・・県交通まちづくり課より再度、公共交通機関の事業者に対し予防策、注意喚起を促すよう要請があり、文書で要請した。

産業環境部・・・職員の家族が新型インフルエンザの感染の疑いがあったので、職員は県健康福祉センターの指導で、マスクを着用して職務に就いた。

3. 今後の市の対応について

* 教育委員会

25日に全児童に対し電話にて健康調査を実施。その結果を27日までに報告するよう要請した。

スポーツ少年団のリーダーに対し、緊急メールにて団員の健康状態を確認し、教育委員会に報告するよう要請した。

体協に対しても、うがい、マスク、手洗いの励行について引き続き周知するよう要請した。

今後、必要に応じて臨時校長会を開催することも考えている。

* 総務部

職場で2人以上の感染があった場合、職場内の消毒を実施する。また、家族が罹患した場合の職員の対応策について周知する。

* 福祉保健部

保育園で2名以上感染者ある場合、健康福祉センターに報告し、県からの要請により休業。

* 消防組合

弱毒性の新型インフルエンザにも対応できるよう、行動計画等を改訂する予定。

その他

情報の共有が大切である。

市民に対しては、8月5日のチラシ配付の時とは状況が変わってきている。市民への一層の注意を促す必要がある。市民への予防対策の周知徹底が大切である。(うがい、手洗い、マスク)

そのため、市民への注意喚起のチラシを全戸配付する。(別添) 発送時期については、8月24日の衆議院選挙公報の発送に併せる。

各所属においては、機会あるごとに予防対策をアピールしていただきたい。

8月30日の投票会場において、手指消毒液を配付して注意喚起を促す。